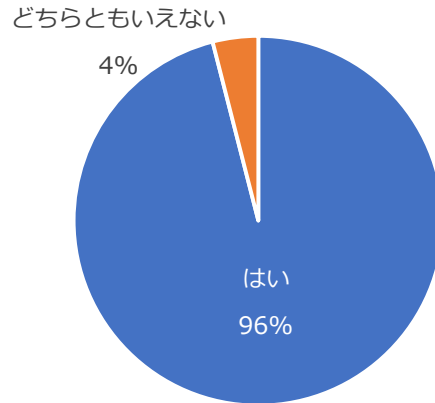


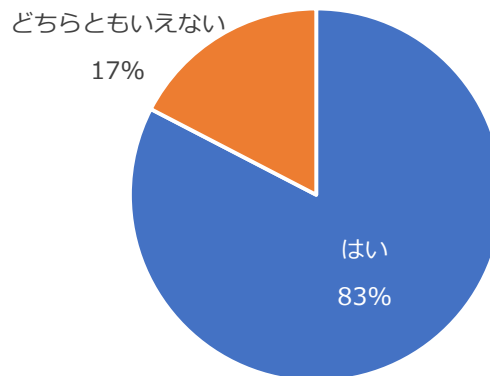
2020年度 保護者向け 児童発達支援評価表（回答数：25）

公益財団法人基督教イースト・エイジャ・ミッション 富坂子どもの家

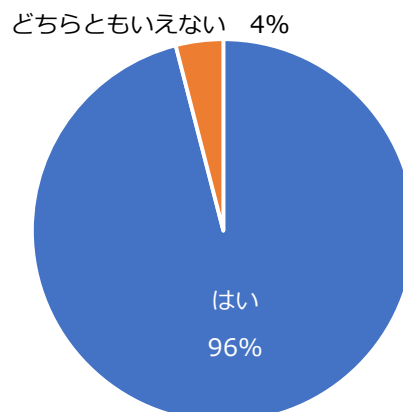
1、子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか



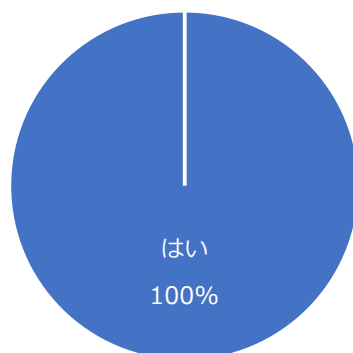
2、職員の配置数や専門性は適切であるか



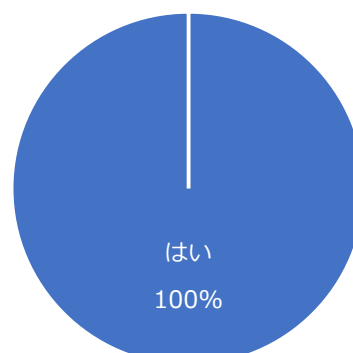
3、生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか



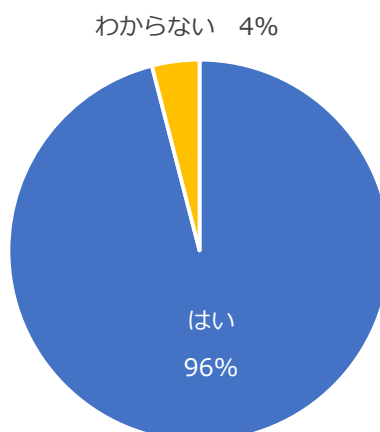
4、生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか



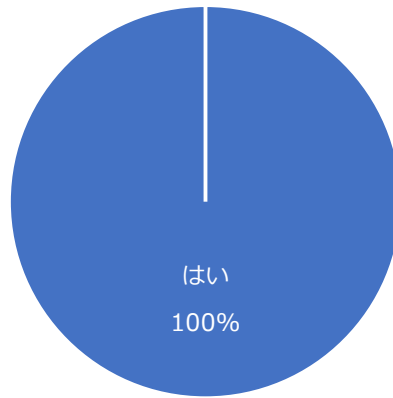
5、児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



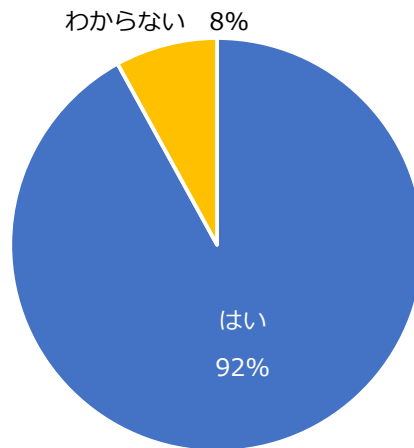
6、児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



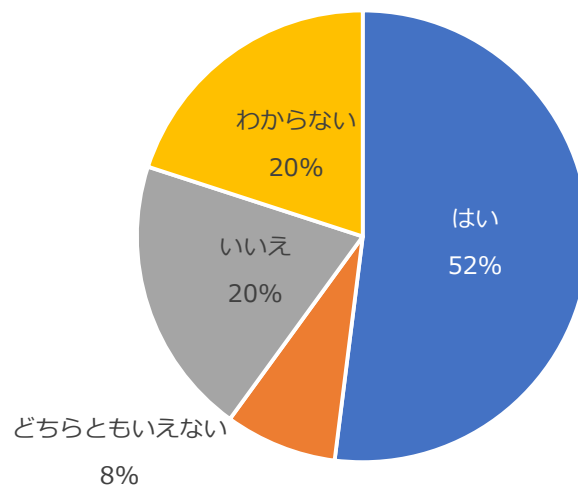
7、児童発達支援計画に沿った支援が行われているか



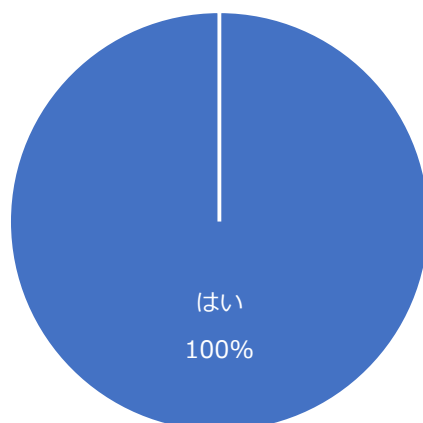
8、活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか



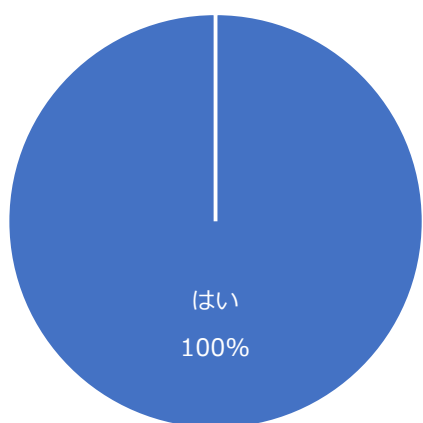
9、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか



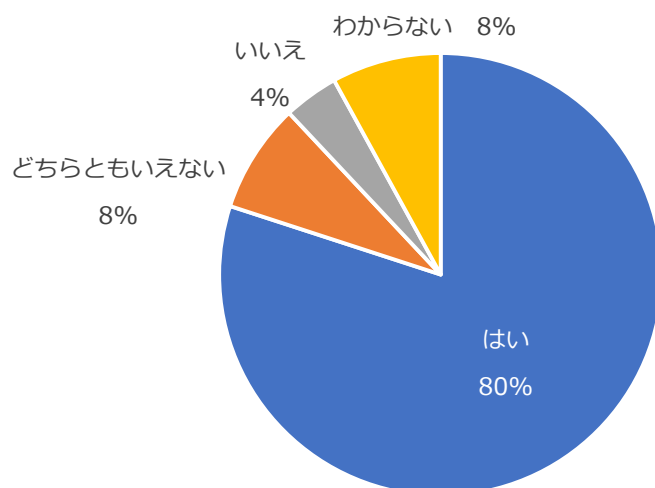
10、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか



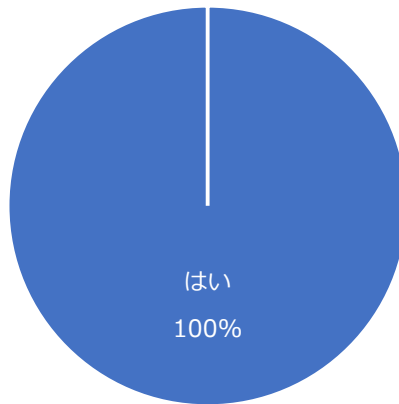
11、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか



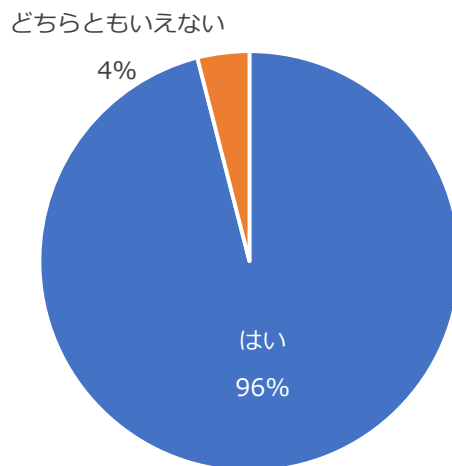
12、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか



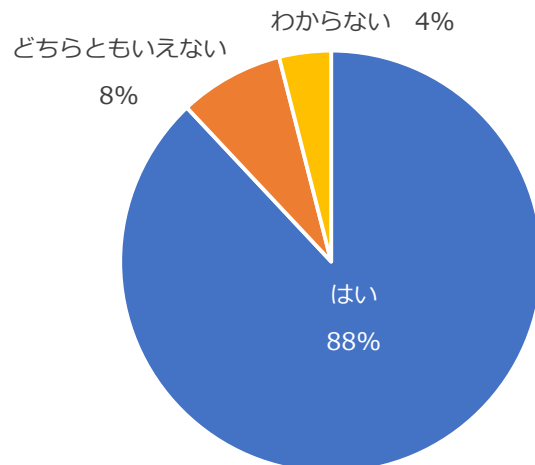
13、日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか



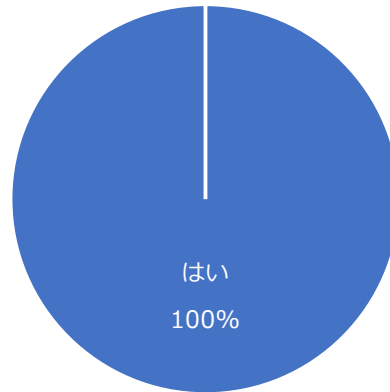
14、定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



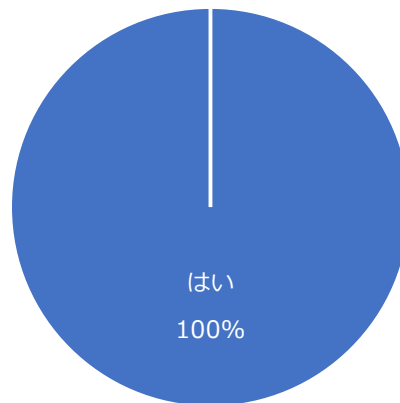
15、父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



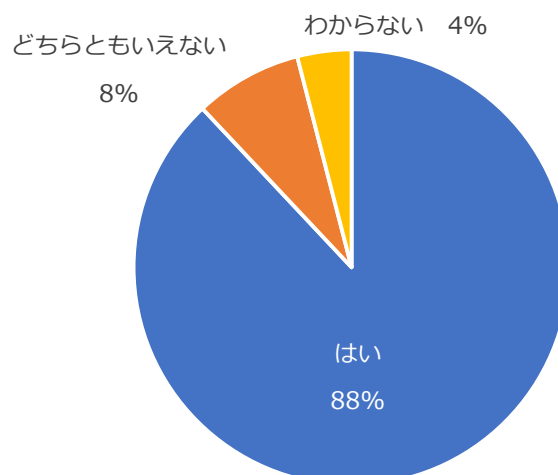
16、子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか



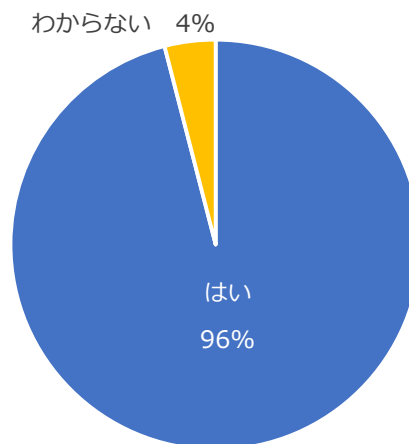
17、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



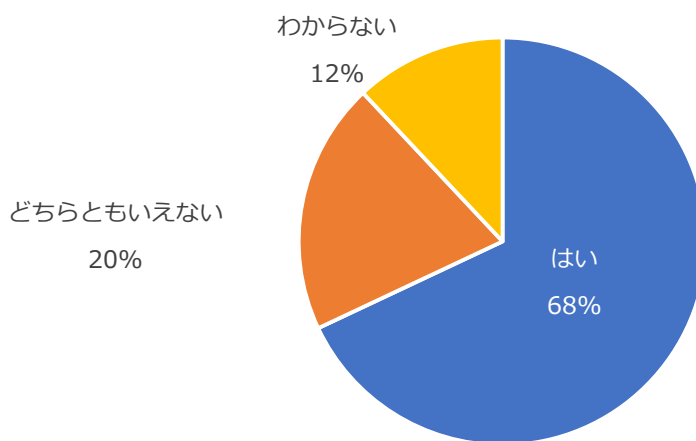
18、定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか



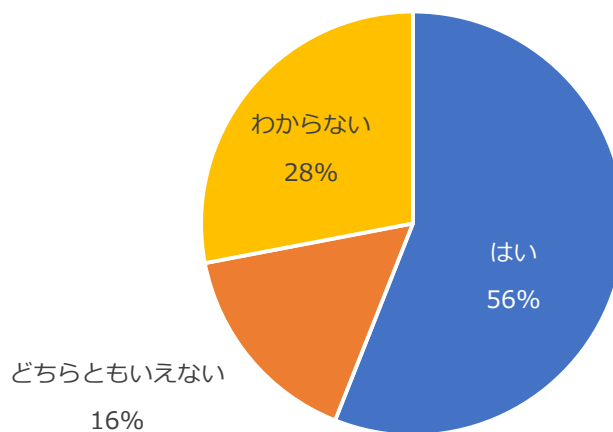
19、個人情報の取り扱いに十分注意されているか



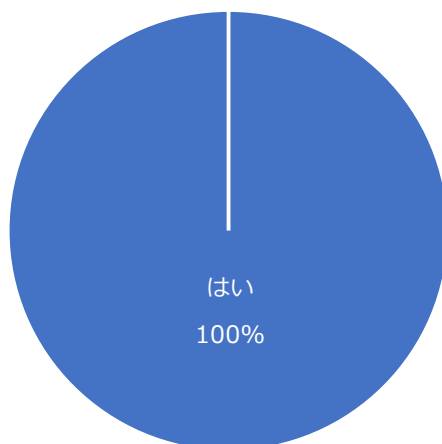
20、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。
また、発生を想定した訓練が実施されているか。



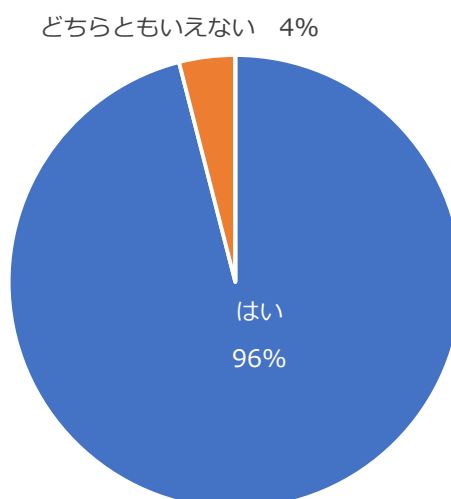
21、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



22、子どもは通所を楽しみにしているか



23、事業所の支援に満足しているか



【事業所より】 保護者・スタッフ両方の自己評価結果を照合し会議を実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、緊急事態宣言が2回にわたり発出される中での事業所開所継続という、いままでに誰しもが経験したことのない状況であった。

- ・上記の状況にも関わらず、おおむね実施事業について子どもも保護者の方々にもご満足いただけている結果であった。感染予防対策も「子どもたちを感染から守るために」保護者の方々の日ごろの予防対策への配慮と協力があって現時点まで無事に乗り切れている。
- ・日常的に隣接の保育園（同法人内）と園庭交流や行事への参加があるが今年度は両園の感染予防のため

実施しなかった例外的な年といえる。交流はできなかったが園庭では毎日互いの遊ぶ姿をみて手を振る、声を掛け合うなどは自然に日常の中であったのはよかった。

- ・避難訓練は日常保育の中で、スモールステップを踏み、定期的に訓練している。
- ・事業所としての感染症対策は、厚労省・東京都・文京区からの通知や指導をもとに保護者に都度事業所の対応を配布・配信し共通理解のもとで、子どもの日常生活をなるべく保障できる体制を工夫した。
- ・保護者支援は、モンテッソーリ保護者講座の開催がコロナ禍でできなかった代わりにオンライン支援・保育参観・個別面談で補う形となった。新しい支援の形としてオンライン支援は好評である。
- ・キリスト教の法人としてクリスマス前に保護者の集い、クリスマス礼拝を感染予防対策をしながら茶話会なしで実施できたことも「つながっている実感」を保護者もスタッフも確認できた。
- ・スタッフ間・保護者とも引き続き感染予防に励むことを確認した。

保護者向け 児童発達支援評価表に頂いたご意見 集約

【環境・体制整備について】

- ・お教室、お庭共にすばらしいです。
- ・息子も過ごしやすそうです。息子は毎日心地よさそうにしています。
- ・職員は少し足りない時もある気がする。新しい先生などの紹介の紙面が欲しい。
- ・どなたがS Tの先生かわかるとさらに相談がしやすくなります。
- ・専門性は良いのですが、もっと職員の数が増えると良いですね。
- ・曜日によっては先生の手があった方がいいのかなと思います。

【適切な支援の提供について】

- ・息子がうらやましいくらいです。
- ・保育園が隣接していて、すてきです。
- ・動画の配信など工夫されていると思います。
- ・コロナ禍のため、他施設との交流があるかはわからない。

【保護者への説明等について】

- ・指摘いただくまで「乱暴な子」と思い込んでいましたが、反応が大きくないと面白がれないタイプだとわかり、対応を変えていくことができました。
- ・毎日子どもの様子をご報告くださり、安心しております。
- ・先日も保護者同士で交流させてくださり、大変楽しくためになりました。
- ・子どものことを相談させていただくと的確にお返事をくださり、プロを感じます。先生方みなさんとても優しくお話ししやすいです。
- ・今年は保護者参加のプログラムが少ない。

【非常時等の対応について】

- ・お勉強になっております。

【満足度について】

- ・本当に楽しそうです。感謝するばかりです。
- ・もっと個別を増やしてほしかったです。独歩できなくても長く通えるような体制、職員が増えたらいいなと思いました。